

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	「新興国債マザーファンド」の受益証券を通じて、主としてJPMorgan社のGBI-EMブロード・ディバシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	「新興国債マザーファンド」の受益証券
	新興国債マザーファンド	新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、1月、4月、7月、10月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。	

運用報告書(全体版)

新興国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))

第90期(決算日 2015年3月12日) 第93期(決算日 2015年6月12日)
 第91期(決算日 2015年4月13日) 第94期(決算日 2015年7月13日)
 第92期(決算日 2015年5月12日) 第95期(決算日 2015年8月12日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 皆様の「新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））」は、2015年8月12日に第95期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第90期～第95期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
 今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
 フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
 ※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			G B I - E M ブ ロ ード ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド 指 数 (円 ベース)		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
66期(2013年3月12日)	6,209	40	1.3	223.457	2.6	94.3	—	28,504
67期(2013年4月12日)	6,492	40	5.2	236.570	5.9	96.3	—	29,459
68期(2013年5月13日)	6,580	40	2.0	243.058	2.7	94.6	—	29,539
69期(2013年6月12日)	5,777	40	△11.6	213.784	△12.0	86.8	—	25,441
70期(2013年7月12日)	5,742	40	0.1	214.383	0.3	95.9	—	24,956
71期(2013年8月12日)	5,569	40	△2.3	210.252	△1.9	96.5	—	23,832
72期(2013年9月12日)	5,514	40	△0.3	211.405	0.5	97.0	—	23,211
73期(2013年10月15日)	5,584	40	2.0	215.353	1.9	96.6	—	23,084
74期(2013年11月12日)	5,380	40	△2.9	211.322	△1.9	96.9	—	21,972
75期(2013年12月12日)	5,536	40	3.6	220.109	4.2	96.4	—	22,550
76期(2014年1月14日)	5,438	40	△1.0	221.318	0.5	95.8	—	21,878
77期(2014年2月12日)	5,245	40	△2.8	214.400	△3.1	96.0	—	20,832
78期(2014年3月12日)	5,300	40	1.8	219.236	2.3	94.7	—	20,758
79期(2014年4月14日)	5,361	40	1.9	224.189	2.3	96.7	—	20,594
80期(2014年5月12日)	5,432	40	2.1	227.059	1.3	96.5	—	20,519
81期(2014年6月12日)	5,396	40	0.1	230.209	1.4	96.0	—	19,806
82期(2014年7月14日)	5,334	40	△0.4	230.513	0.1	97.0	—	19,300
83期(2014年8月12日)	5,281	40	△0.2	229.091	△0.6	96.5	—	18,841
84期(2014年9月12日)	5,433	40	3.6	238.438	4.1	95.9	—	19,184
85期(2014年10月14日)	5,290	40	△1.9	236.700	△0.7	96.9	—	18,975
86期(2014年11月12日)	5,570	40	6.0	252.150	6.5	97.5	—	20,160
87期(2014年12月12日)	5,504	40	△0.5	251.493	△0.3	97.0	—	19,565
88期(2015年1月13日)	5,501	40	0.7	249.066	△1.0	97.1	—	19,388
89期(2015年2月12日)	5,385	40	△1.4	247.920	△0.5	97.3	—	18,634
90期(2015年3月12日)	5,151	40	△3.6	241.806	△2.5	97.2	—	17,629
91期(2015年4月13日)	5,185	40	1.4	247.954	2.5	98.2	—	17,545
92期(2015年5月12日)	5,078	40	△1.3	246.407	△0.6	95.0	—	17,034
93期(2015年6月12日)	5,085	40	0.9	248.310	0.8	97.0	—	16,809
94期(2015年7月13日)	4,946	40	△1.9	246.745	△0.6	96.4	—	16,084
95期(2015年8月12日)	4,794	40	△2.3	241.531	△2.1	97.0	—	15,328

(注) 基準価額および配金(税込み)は1万円当たり、基準価額の騰落率は配金(税込み)込みです。

(注) G B I - E M ブ ロ ード ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド 指 数 (円 ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。なお、同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) G B I - E M ブ ロ ード ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド 指 数 (円 ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

○当作成期間中の基準価額と市況等の推移

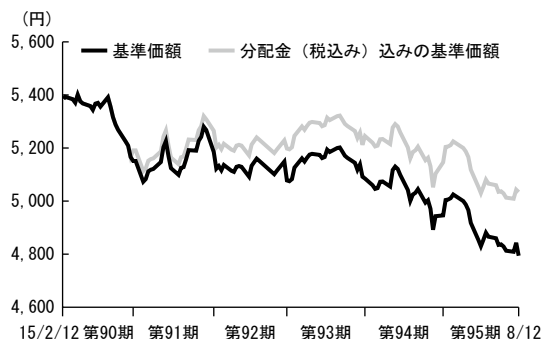
決算期	年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M プ ロ ー ド ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド 指 数 (円 ベ ー ス)		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第90期	(期 首) 2015年2月12日	円 5,385	% —	ポイント 247.920	% —	% 97.3	% —
	2月末	5,356	△0.5	249.012	0.4	96.8	—
	(期 末) 2015年3月12日	5,191	△3.6	241.806	△2.5	97.2	—
第91期	(期 首) 2015年3月12日	5,151	—	241.806	—	97.2	—
	3月末	5,125	△0.5	242.449	0.3	97.0	—
	(期 末) 2015年4月13日	5,225	1.4	247.954	2.5	98.2	—
第92期	(期 首) 2015年4月13日	5,185	—	247.954	—	98.2	—
	4月末	5,160	△0.5	248.516	0.2	97.1	—
	(期 末) 2015年5月12日	5,118	△1.3	246.407	△0.6	95.0	—
第93期	(期 首) 2015年5月12日	5,078	—	246.407	—	95.0	—
	5月末	5,185	2.1	251.879	2.2	97.2	—
	(期 末) 2015年6月12日	5,125	0.9	248.310	0.8	97.0	—
第94期	(期 首) 2015年6月12日	5,085	—	248.310	—	97.0	—
	6月末	5,001	△1.7	245.892	△1.0	95.6	—
	(期 末) 2015年7月13日	4,986	△1.9	246.745	△0.6	96.4	—
第95期	(期 首) 2015年7月13日	4,946	—	246.745	—	96.4	—
	7月末	4,866	△1.6	244.018	△1.1	96.0	—
	(期 末) 2015年8月12日	4,834	△2.3	241.531	△2.1	97.0	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、5,385円から4,794円となりました。なお、当作成期間において、合計で240円（税込み）の分配金をお支払い致しましたので、分配金を含めた値下がり額は351円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たりです。分配金(税込み)込みの基準価額とは、基準価額(分配金)に第90期以降の分配金(税込み)累積額を加算した価額です。

◎基準価額の変動要因

主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因及びマイナス要因は、以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ブラジル国債やインド国債を筆頭に、現地通貨建て新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。

(主なマイナス要因)

- ・トルコやポーランドなど投資していた一部の新興国において、保有債券の利回り上昇（価格は下落）に伴うマイナスが、利息収入の獲得によるプラスを上回ったこと。
- ・ブラジル・リアルやコロンビア・ペソを筆頭に、投資していた多くの新興国通貨に対し円高が進行し、為替面での損失が発生したこと。

◎投資環境（市況）

＜新興国の国債市場＞

原油価格の反発やユーロ圏のデフレ懸念後退を受けて、6月中旬にかけて先進国の国債利回りが急上昇する中、新興国の国債利回りは上昇（価格は下落）傾向となりました。7月中旬以降は商品市況が急落し、先進国の国債利回りは低下しましたが、米国の利上げへの警戒感と投資家のリスク回避の動きから、新興国の国債利回りは小幅上昇しました。

＜為替市場＞

米国の早期利上げ観測の高まり等を背景に新興国通貨が対円で下落して始まりましたが、3月中旬以降は、米国の利上げに対する懸念が和らいだことや原油価格の反発を受けて、新興国通貨が対円で戻りを試す展開となりました。しかし、6月末以降は、ギリシャ情勢の混迷や原油をはじめとする商品市況の急落に加え、米国の年内利上げ観測の高まりを嫌気し、新興国通貨が対円で下値を探る動きとなりました。

◎ポートフォリオについて

＜新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））＞

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○新興国債マザーファンド

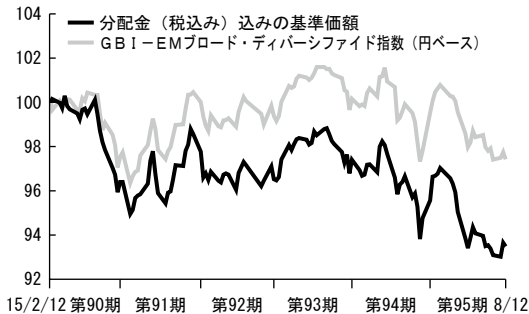
J Pモルガン社のGBI-EMブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当作成期間においては、10カ国、10通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました。また、新興国の国債及び通貨の組入れをともに高位に維持しましたが、7月には一部投資通貨に関し対円での為替ヘッジを行いました。作成期間末現在の投資国上位は、南アフリカ、インドネシア、ブラジル、インドです。また、

ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、作成期間末現在4.49年となっています。

◎参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-EMブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を下回りました。

基準価額とGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）の推移



- (注) 分配金（税込み）込みの基準価額は作成期首を100、GBI-EMブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は作成期首前営業日のデータを100として指数化しております。
- (注) 分配金（税込み）込みの基準価額は、基準価額（分配前）に第90期以降の分配金（税込み）累積額を加算しております。

（分配原資の内訳）

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2015年2月13日～ 2015年3月12日	2015年3月13日～ 2015年4月13日	2015年4月14日～ 2015年5月12日	2015年5月13日～ 2015年6月12日	2015年6月13日～ 2015年7月13日	2015年7月14日～ 2015年8月12日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.771%	0.766%	0.782%	0.780%	0.802%	0.827%
当期の収益	17	24	17	22	40	40
当期の収益以外	22	15	22	17	—	—
翌期繰越分配対象額	175	160	138	120	163	201

- (注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

（投資環境の見通し）

新興国の国債市場は、先進国の低金利環境の長期化が予想される中、今後も相対的に高い利回りを求める投資資金の流入が期待されることから、多くの新興国において利回りの低下余地が残されていると見ています。為替市場では、中国の景気減速懸念や商品市況の下落等を背景に投資家のリスク回避姿勢が強く、当面は新興国通貨が対円で軟調に推移する場面もあると思われれます。しかし、最近の新興国通貨の下落により、現地通貨建て新興国国債の中長期的な投資妙味は一段と向上したと見ており、投資家心理の落ち着きとともに新興国通貨が徐々に底堅さを増してくると考えています。

（運用方針）

<新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>

主要投資対象である「新興国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国債マザーファンド

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローンヘッジする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年2月13日～2015年8月12日）

項 目	第90期～第95期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	36 (17) (17) (2)	0.696 (0.326) (0.327) (0.043)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	3 (2) (0) (0)	0.050 (0.035) (0.006) (0.008)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	39	0.746	
作成期間中の平均基準価額は、5,115円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年2月13日～2015年8月12日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第 90 期 ～		第 95 期	
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1,925,621	千円 2,252,130

（注）口数・金額の単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

（2015年2月13日～2015年8月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2015年8月12日現在）

親投資信託残高

銘柄	第 89 期 末	第 95 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国債マザーファンド	千口 15,367,623	千口 13,442,002	千円 15,251,295

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

（2015年8月12日現在）

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
新興国債マザーファンド	千円 15,251,295	% 98.3
コール・ローン等、その他	268,424	1.7
投資信託財産総額	15,519,719	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨てです。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、第95期末における外貨建純資産（15,221,684千円）の投資信託財産総額（15,347,426千円）に対する比率は99.2%です。

（注）新興国債マザーファンドの外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、第95期末における邦貨換算レートは1米ドル=125.12円、1メキシコペソ=7.68円、1ブラジルリアル=36.01円、1ペルーソール=38.86円、1トルコリラ=45.03円、1ポーランドズロチ=32.94円、1マレーシアリンギット=31.32円、1インドネシアルピア=0.0092円、1南アフリカランド=9.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
	2015年3月12日現在	2015年4月13日現在	2015年5月12日現在	2015年6月12日現在	2015年7月13日現在	2015年8月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	17,829,063,144	17,750,978,963	17,211,551,820	16,988,832,810	16,272,122,718	15,519,719,356
コール・ローン等	283,910,932	259,541,110	253,125,559	253,290,280	294,916,973	250,423,575
新興国債マザーファンド(評価額)	17,535,152,135	17,456,437,782	16,958,426,192	16,735,542,461	15,977,205,665	15,251,295,713
未収入金	10,000,000	35,000,000	—	—	—	18,000,000
未収利息	77	71	69	69	80	68
(B) 負債	199,849,647	205,490,754	177,344,707	179,642,184	187,189,588	191,206,908
未払収益分配金	136,899,596	135,350,751	134,182,556	132,232,399	130,071,416	127,897,881
未払解約金	42,984,293	48,348,434	23,738,999	26,778,333	37,249,262	44,928,677
未払信託報酬	19,783,154	21,592,265	19,245,510	20,442,761	19,687,192	18,212,248
その他未払費用	182,604	199,304	177,642	188,691	181,718	168,102
(C) 純資産総額(A－B)	17,629,213,497	17,545,488,209	17,034,207,113	16,809,190,626	16,084,933,130	15,328,512,448
元本	34,224,899,129	33,837,687,892	33,545,639,190	33,058,099,916	32,517,854,232	31,974,470,302
次期繰越損益金	△16,595,685,632	△16,292,199,683	△16,511,432,077	△16,248,909,290	△16,432,921,102	△16,645,957,854
(D) 受益権総口数	34,224,899,129口	33,837,687,892口	33,545,639,190口	33,058,099,916口	32,517,854,232口	31,974,470,302口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,151円	5,185円	5,078円	5,085円	4,946円	4,794円

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は、第90期0.5151円、第91期0.5185円、第92期0.5078円、第93期0.5085円、第94期0.4946円、第95期0.4794円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第90期16,595,685,632円、第91期16,292,199,683円、第92期16,511,432,077円、第93期16,248,909,290円、第94期16,432,921,102円、第95期16,645,957,854円です。

(注) 当ファンドの第90期首元本額は34,602,910,537円、第90～95期中追加設定元本額は124,627,149円、第90～95期中一部解約元本額は2,753,067,384円です。

○損益の状況

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2015年2月13日～ 2015年3月12日	2015年3月13日～ 2015年4月13日	2015年4月14日～ 2015年5月12日	2015年5月13日～ 2015年6月12日	2015年6月13日～ 2015年7月13日	2015年7月14日～ 2015年8月12日
(A) 配当等収益	971	1,013	826	937	1,012	999
受取利息	971	1,013	826	937	1,012	999
(B) 有価証券売買損益	△ 644,590,898	272,485,909	△ 206,454,931	175,178,713	△ 300,064,607	△ 341,767,608
売買益	2,215,232	274,311,745	1,471,715	179,117,381	2,789,044	3,692,821
売買損	△ 646,806,130	△ 1,825,836	△ 207,926,646	△ 3,938,668	△ 302,853,651	△ 345,460,429
(C) 信託報酬等	△ 19,965,758	△ 21,791,569	△ 19,423,152	△ 20,631,452	△ 19,868,910	△ 18,380,350
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 664,555,685	250,695,353	△ 225,877,257	154,548,198	△ 319,932,505	△ 360,146,959
(E) 前期繰越損益金	△ 5,770,801,726	△ 6,493,476,991	△ 6,318,450,350	△ 6,578,471,290	△ 6,446,743,992	△ 6,778,810,675
(F) 追加信託差損益金	△ 10,023,428,625	△ 9,914,067,294	△ 9,832,921,914	△ 9,692,753,799	△ 9,536,173,189	△ 9,379,102,339
(配当等相当額)	(329,843,335)	(326,335,274)	(323,697,994)	(319,083,130)	(313,908,545)	(308,774,908)
(売買損益相当額)	(△10,353,271,960)	(△10,240,402,568)	(△10,156,619,908)	(△10,011,836,929)	(△9,850,081,734)	(△9,687,877,247)
(G) 計(D+E+F)	△ 16,458,786,036	△ 16,156,848,932	△ 16,377,249,521	△ 16,116,676,891	△ 16,302,849,686	△ 16,518,059,973
(H) 収益分配金	△ 136,899,596	△ 135,350,751	△ 134,182,556	△ 132,232,399	△ 130,071,416	△ 127,897,881
次期繰越損益金(G+H)	△ 16,595,685,632	△ 16,292,199,683	△ 16,511,432,077	△ 16,248,909,290	△ 16,432,921,102	△ 16,645,957,854
追加信託差損益金	△ 10,023,428,625	△ 9,914,067,294	△ 9,832,921,914	△ 9,692,753,799	△ 9,536,173,189	△ 9,379,102,339
(配当等相当額)	(329,897,518)	(326,368,142)	(323,729,525)	(319,101,741)	(313,949,536)	(308,845,673)
(売買損益相当額)	(△10,353,326,143)	(△10,240,435,436)	(△10,156,651,439)	(△10,011,855,540)	(△9,850,122,725)	(△9,687,948,012)
分配準備積立金	272,246,366	216,466,439	139,804,094	78,495,144	217,518,818	336,780,941
繰越損益金	△ 6,844,503,373	△ 6,594,598,828	△ 6,818,314,257	△ 6,634,650,635	△ 7,114,266,731	△ 7,603,636,456

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しております。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 配当等収益(費用控除後)	59,667,366円	82,503,115円	59,222,294円	72,831,693円	269,940,498円	250,444,453円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	329,897,518円	326,368,142円	323,729,525円	319,101,741円	313,949,536円	308,845,673円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	349,478,596円	269,314,075円	214,764,356円	137,895,850円	77,649,736円	214,234,369円
分配対象収益(a+b+c+d)	739,043,480円	678,185,332円	597,716,175円	529,829,284円	661,539,770円	773,524,495円
分配対象収益(1万口当たり)	215円	200円	178円	160円	203円	241円
分配金額	136,899,596円	135,350,751円	134,182,556円	132,232,399円	130,071,416円	127,897,881円
分配金額(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

- ・インターナショナル・ストラテジー・アンド・インベストメント・インク（ISI Inc.）との投資助言契約を解除するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2015年2月20日）
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
 - ①運用企画部の新設
 - ②投資調査部を投資情報部に改称
 - ③運用各部を投資対象資産別に再編
 - ④トレーディング部を運用本部から分離

新興国債マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

新興国債マザーファンド

第8期 運用状況のご報告

決算日：2015年8月12日

「新興国債マザーファンド」は、2015年8月12日に第8期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	J Pモルガン社のG B I - E Mブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	J Pモルガン社のG B I - E Mブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		G B I - E Mブロード・ディバースファイド指数(円ベース)		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落			
4期(2011年8月12日)	円	%	ポイント		%	%	百万円
	8,930	△ 1.2	164.772		93.8	—	41,948
5期(2012年8月13日)	9,045	1.3	171.185		97.4	—	27,093
6期(2013年8月12日)	10,709	18.4	210.252		97.1	—	23,794
7期(2014年8月12日)	11,248	5.0	229.091		97.0	—	18,835
8期(2015年8月12日)	11,346	0.9	241.531		97.4	—	15,329

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) G B I - E Mブロード・ディバースファイド指数(円ベース)は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。なお、同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) G B I - E Mブロード・ディバースファイド指数(円ベース)は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

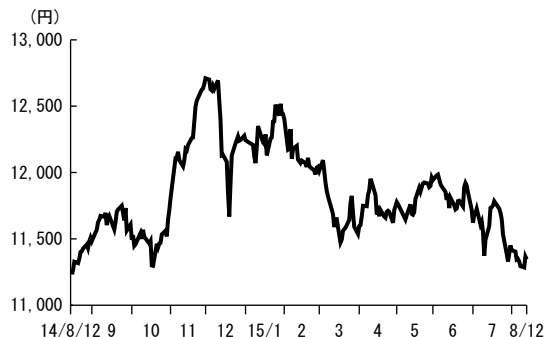
年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M プ ロ ー ド ・ デ ィ バ ー シ フ ェ イ ド 指 数 (円 ベ ー ス)		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2014年 8 月 12 日	円 11,248	% —	ポ イ ン ト 229.091	% —	% 97.0	% —
8 月 末	11,482	2.1	234.274	2.3	97.0	—
9 月 末	11,494	2.2	237.332	3.6	96.6	—
10 月 末	11,808	5.0	242.166	5.7	94.6	—
11 月 末	12,711	13.0	259.984	13.5	97.4	—
12 月 末	12,243	8.8	251.254	9.7	96.8	—
2015年 1 月 末	12,404	10.3	250.357	9.3	96.8	—
2 月 末	12,013	6.8	249.012	8.7	97.2	—
3 月 末	11,597	3.1	242.449	5.8	97.4	—
4 月 末	11,778	4.7	248.516	8.5	97.6	—
5 月 末	11,944	6.2	251.879	9.9	97.6	—
6 月 末	11,622	3.3	245.892	7.3	95.9	—
7 月 末	11,415	1.5	244.018	6.5	96.5	—
(期 末) 2015年 8 月 12 日	11,346	0.9	241.531	5.4	97.4	—

(注) 騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、11,248円から11,346円となりました。当期間における値上がり額は98円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たりです。

◎基準価額の変動要因

(主なプラス要因)

- ・現地通貨建て新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、インド国債やポーランド国債に関しては、利回り低下に伴う債券価格の上昇もプラス寄与したこと。
- ・インド・ルピーやインドネシア・ルピアなど投資していた一部の新興国通貨に対し円安が進行し、為替差益を獲得したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ブラジル・リアルやコロンビア・ペソなど投資していた一部の新興国通貨に対し大幅な円高が進行し、為替差損が発生したこと。

◎投資環境（市況）

＜新興国の国債市場＞

日銀や欧州中央銀行（ECB）の金融緩和や、原油価格の急落に伴う世界的なインフレ率低下を受けて、2015年1月末にかけて新興国の国債利回りが低下（価格は上昇）しました。しかし、その後は、原油価格の反発やユーロ圏のデフレ懸念後退に加え、米国の利上げ観測の高まり等を背景に、新興国の国債利回りは上昇（価格は下落）傾向となりました。

＜為替市場＞

2014年10月末の日銀による予想外の金融緩和を受けて、新興国通貨に対し大幅な円安が進行しましたが、原油価格の急落やECBの量的緩和導入に伴うユーロ安・円高を背景に、新興国通貨は対円で下落に転じました。その後、原油価格の反発等を受けて、新興国通貨が対円で戻りを試す場面も見られましたが、期末にかけては原油をはじめとする商品市況の急落や、米国の年内利上げ観測の高まりを嫌気し、新興国通貨が対円で下値を探る動きとなりました。

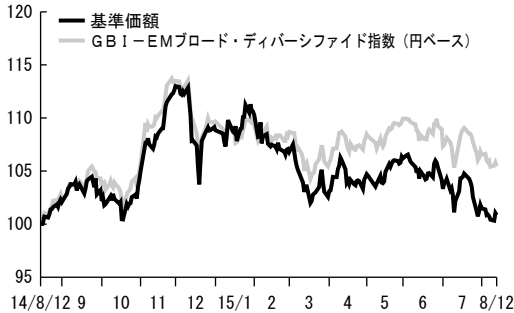
◎ポートフォリオについて

J Pモルガン社のGBI-EMブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いていません）に投資を行いましたが、ロシア国債とロシア・ルーブルは2014年10月にすべて売却したため、当期末現在の投資国は10カ国、投資通貨は10通貨となっています。また、新興国の国債及び通貨の組入れとともに高位に維持しましたが、2015年7月には一部投資通貨に対し対円での為替ヘッジを行いました。当期末現在の投資国上位は、南アフリカ、インドネシア、ブラジル、インドです。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、当期末現在4.49年となっています。

◎参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている J P モルガン社の「G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を下回りました。

基準価額と G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）の推移



(注) 基準価額は期首を100、G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は期首前営業日のデータを100として指数化しております。

◎今後の運用方針

(投資環境の見通し)

新興国の国債市場は、先進国の低金利環境の長期化が予想される中、今後も相対的に高い利回りを求める投資資金の流入が期待されることから、多くの新興国において利回りの低下余地が残されていると見ています。為替市場では、中国の景気減速懸念や商品市況の下落等を背景に投資家のリスク回避姿勢が強く、当面は新興国通貨が対円で軟調に推移する場面もあると思われます。しかし、最近の新興国通貨の下落により、現地通貨建て新興国国債の中長期的な投資妙味は一段と向上したと見ており、投資家心理の落ち着きとともに新興国通貨が徐々に底堅さを増してくるかと考えています。

(運用方針)

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、

ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローンヘジフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年 8 月13日～2015年 8 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	10 (8)	0.081 (0.068)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
(そ の 他)	(2)	(0.013)	
合 計	10	0.081	

期中の平均基準価額は、11,875円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2014年 8 月13日～2015年 8 月12日)

公 社 債

			買 付 額	売 付 額	
外	アメリカ	社債券	千米ドル 70,398	千米ドル 67,328	
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 57,117	千メキシコペソ 92,737	
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 83,216	千ブラジルリアル 83,254	
	ペルー	国債証券	千ペルーソル —	千ペルーソル (10,000)	
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 20,940	千トルコリラ 10,332	
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 5,986	千ポーランドズロチ 28,719	
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 141,596	千ロシアルーブル 420,770	
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリンギット —	千マレーシアリンギット 14,053	
	国	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 178,265,000	千インドネシアルピア 139,565,200
		南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 256,204	千南アフリカランド (237,510 58,666)

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切り捨てです。

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) アメリカの社債券として表示されているのは、全て現地通貨建ての新興国債にパフォーマンスが連動するクレジット・リンク・ノートです。

(注) 南アフリカ国債の額面分割に伴う処理分が含まれています。

○利害関係人との取引状況等

(2014年8月13日～2015年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年8月12日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
外 貨 建 金 額		千 米 ド ル	千 円			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ (クレジット・リンク・ノート)	千米ドル 26,712	千米ドル 27,212	千円 3,404,792	% 22.2	% —	% 22.2	% —	% —
メ キ シ コ	千メキシコペソ 170,000	千メキシコペソ 212,087	千円 1,628,829	10.6	—	10.6	—	—
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 65,000	千ブラジルレアル 57,035	千円 2,053,859	13.4	—	7.7	5.1	0.6
ペ ル ー	千ペルーソル 15,000	千ペルーソル 16,474	千円 640,199	4.2	—	4.2	—	—
ト ル コ	千トルコリラ 39,000	千トルコリラ 40,548	千円 1,825,903	11.9	—	6.5	5.4	—
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 15,000	千ポーランドズロチ 18,432	千円 607,150	4.0	—	4.0	—	—
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 13,000	千マレーシアリンギット 13,920	千円 435,982	2.8	—	—	2.8	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 225,000,000	千インドネシアルピア 231,515,900	千円 2,129,946	13.9	—	3.3	1.8	8.8
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 204,333	千南アフリカランド 225,792	千円 2,210,509	14.4	—	7.8	—	6.6
合 計	—	—	14,937,172	97.4	—	66.3	15.1	16.1

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 組入比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

(注) B B格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) 一印は組み入れがありません。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期			償還年月日
			額面金額	評価額	未	
			千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ(クレジット・リンク・ノート)		%				
	普通社債券 CS INT(INRCLN)8.4 2407	—	14,878	15,275	1,911,290	2024/7/31
	JPM SP(COPCLN)10.0 2407	—	11,834	11,936	1,493,501	2024/7/26
小	計				3,404,792	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券 MEXICAN BONOS 10	10.0	130,000	166,774	1,280,827	2024/12/5
	MEXICAN BONOS 8	8.0	40,000	45,312	348,002	2023/12/7
小	計				1,628,829	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	国債証券 BRAZIL NTN-F 10	10.0	23,000	21,668	780,300	2018/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	12,000	10,259	369,438	2023/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	27,000	22,437	807,956	2025/1/1
	BRAZIL-LTN 0	0	3,000	2,670	96,164	2016/7/1
小	計				2,053,859	
ペルー			千ペルーソール	千ペルーソール		
	国債証券 REPUBLIC OF PERU 7.84	7.84	15,000	16,474	640,199	2020/8/12
小	計				640,199	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
	国債証券 TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	18,000	18,415	829,247	2019/3/27
	TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	21,000	22,133	996,656	2024/3/20
小	計				1,825,903	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券 POLAND GOVT BOND 5.75	5.75	9,000	10,757	354,358	2022/9/23
	POLAND GOVT BOND 5.75	5.75	6,000	7,674	252,791	2029/4/25
小	計				607,150	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券 MALAYSIA GOVT 5.734	5.734	13,000	13,920	435,982	2019/7/30
小	計				435,982	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券 INDONESIA GOV' T 10.75	10.75	70,000,000	71,733,900	659,951	2016/5/15
	INDONESIA GOV' T 11	11.0	50,000,000	55,374,500	509,445	2020/11/15
	INDONESIA GOV' T 7.375	7.375	75,000,000	74,752,500	687,723	2016/9/15
	INDONESIA GOV' T 7.875	7.875	30,000,000	29,655,000	272,826	2019/4/15
小	計				2,129,946	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券 REP SOUTH AFRICA 10.5	10.5	104,000	121,719	1,191,634	2026/12/21
	REP SOUTH AFRICA 13.5	13.5	49,666	49,943	488,945	2015/9/15
	REP SOUTH AFRICA 13.5	13.5	50,666	54,129	529,930	2016/9/15
小	計				2,210,509	
合	計				14,937,172	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に(INR CLN)とあるものはインドの、(COP CLN)とあるものはコロンビアの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートの利率は、連動先債券の通貨とドルとの為替レートの影響を受け変動しますので、「—」と表示しております。

(注) クレジット・リンク・ノート(CLN)は、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。当期末現在の発行体は、Credit Suisse International、J.P. Morgan Structured Products B.V.です。

○投資信託財産の構成

(2015年8月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	14,937,172 千円	97.3%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	410,254	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	15,347,426	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産 (15,221,684千円) の投資信託財産総額 (15,347,426千円) に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=125.12円、1メキシコペソ=7.68円、1ブラジルレアル=36.01円、1ペルーソル=38.86円、1トルコリラ=45.03円、1ポーランドズロチ=32.94円、1マレーシアリンギット=31.32円、1インドネシアルピア=0.0092円、1南アフリカランド=9.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年8月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,388,966,831 円
コール・ローン等	125,592,361
公社債(評価額)	14,937,172,282
未収入金	81,070,979
未収利息	239,164,128
前払費用	5,967,081
(B) 負債	59,540,268
未払金	41,540,268
未払解約金	18,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	15,329,426,563
元本	13,510,659,974
次期繰越損益金	1,818,766,589
(D) 受益権総口数	13,510,659,974口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,346円

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.1346円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は16,745,425,524円、期中追加設定元本額は450,226,064円、期中一部解約元本額は3,684,991,614円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、新興国国債オープン(毎月決算型)愛称:アトラス(毎月決算型)13,442,002,215円、新興国国債オープン(1年決算型)愛称:アトラス(1年決算型)68,657,759円です。

○損益の状況 (2014年8月13日~2015年8月12日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,986,098,965 円
受取利息	1,986,098,965
(B) 有価証券売買損益	△1,616,498,938
売買益	1,218,107,068
売買損	△2,834,606,006
(C) 保管費用等	△ 15,070,203
(D) 当期損益金(A+B+C)	354,529,824
(E) 前期繰越損益金	2,090,171,215
(F) 追加信託差損益金	71,743,936
(G) 解約差損益金	△ 697,678,386
(H) 計(D+E+F+G)	1,818,766,589
次期繰越損益金(H)	1,818,766,589

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年12月1日)
- ・インターナショナル・ストラテジー・アンド・インベストメント・インク (ISI Inc.) との投資助言契約を解除するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
当ファンドは2014年12月25日現在(異議申立基準日)の受益者の皆様を対象に、2014年12月25日から2015年1月26日までの間、異議申立の受付を行いました。その結果、異議をお申立てされた受益者様の受益権の合計口数が異議申立基準日の受益権総口数の2分の1を超えなかったため、2015年2月20日に投資信託約款の変更を行いました。
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離